

# つらつろん推進NEWS

No. 2

H21年11月

～計画推進ニュース～

## ～誰もが誰かの力になれる～ こんな・こんなカードを使ったワークを実施しました

第2次計画で最も重視する視点として「誰もが誰かの力になれる」関係づくりをあげています。

これは誰かが一方的に支援されるだけでなく、その人もなにかできることを発揮することによって、誰かに必要とされたり生きがいにつながるような双方向の関係づくりをめざすものです。

ただ「誰もが誰かの力になる」と言っても実際にはどうしたらいいか、具体的に分かりにくい部分がありました。具体的に実感できるようなワークを職場内のネットワーク班で考え、まずは職員全体研修において全員で実施し、話し合いました。

【10/22 職員全体研修 33人参加】

### 1. 各職員が関わっている地域の方々を思い浮かべ、その方の得意なことや好きなことは何か、ちょっと誰かに手伝ってもらいたいと思っていることは何か、カードに書き出しました

\*①～③は実際に出た3人の方の事例です

こんな・こんなカード	
こんな人	①ヘルパーを利用している80代男性 ②ヘルパー利用している身体障がい1級脳性まひの男性 ③はつらつ長寿推進事業に参加している要支援1の女性
こんなことができる・こんなことが好き	①日曜大工等、なんでも作れる ②子ども達に自分の経験談を話す、野球観戦 ③洋裁・和裁が得意
こんなこと（誰かに）してもらいたい	①親密な話し相手がほしい ②一緒に野球観戦に行ってほしい ③歩行が不安定なので一緒に外出してほしい

### 2. 出てきたカードの中でもつなげられるものがないか、具体的に実現させるにはどうしたらいいか話し合いました

その人が「できないこと」に目がいきがちですが、このカードではその人のどんなところを活かしていただけるかを考えるきっかけになります。ボランティア活動や、出たカード同士でもつなげられそうなものがあり、アイデアがふくらみました。

最後に原田先生からも、これからは介護保険では充足できない「さびしい」「つまらない」といった不安に癒える生きがい・自己実現にアプローチすることが求められていることなどのお話をいただきました。

具体的に職場の中で続けていく方法を引き続きネットワーク班で考えています。



## ～各プロジェクトチームからの進捗状況レポート～



### 【相談窓口プロジェクトチーム】

いよいよ年明けには、事業所や施設、学区などに窓口のお願いをしていきます。名称を「こころんお助けコーナー」として、コミセン等に相談窓口を設置依頼する予定。学区の方に担い手を探していただくにあたっての依頼表現やアンケート内容等、各自分坦し、準備しています。 (蟹江)

### 【情報冊子作成プロジェクトチーム】

情報冊子作りの準備として行っている情報収集作業で集まった情報の整理を始めています。昭和区の皆さんの特徴でしょうか、今のところ「環境やマナーについて」という項目に一番“困りごと”の意見があがっています。引き続き、情報収集に取り組んでいきます。(堀井)



### 【たまり場プロジェクトチーム】

新規スタートのたまり場について会の様子が報告され、徐々にですが進展している様子を確認できました。また、他の学区の福祉推進協議会から新しい取り組みとしてこのプロジェクトへのアプローチがあり、具体的に一カ所、場所の提供についての情報が寄せられました。参加者全員が、年明けからの活動に期待を寄せています。 (小塚)

### 【福祉教育推進プロジェクトチーム】

2月26日に行われるセミナーについて話合っています。前半は日本福祉大学の原田正樹先生の福祉教育の講義。後半は昭和区内の福祉関係者の方と地域ごとに分かれて情報交換などを企画しています。対象を学校の先生にしていますがテーマにご興味のある方の参加も大歓迎です。 (塚本)



### 【セーフティネット委員会】

現在、「昭和区における保健・医療・福祉の情報冊子」の内容として、困った方のニーズの項目に対応する相談先を順番に確認していく作業を進めているところです。

検討を始めていると、話題が多岐にわたり、つい時間延長してしまいます。 (佐藤)

～5つの班と  
事務局プロジェクト  
チーム～

＜社協 PR・環境整備班＞

「昭和区社協＝こころん」で、1人でも多くの人にまずは名前を知ってもらおうと検討中。何か製作しようと思うと予算がネックになります。この点で現在足踏み状態です。社協の環境整備に関しては、事務局長の協力もあり自転車置き場、ゴミ倉庫の整頓等、目立たない所での整備に努めています。

(主任介護支援専門員：石原)

＜ネットワーク班＞

これまで取り組んできた「こんなこんなカード」の普及について検討しています。カードを使用して実際にボランティア活動がおこなわれたケースもできました。今後は、カードを職員に意識づけして定着させるために、月に一度の推進デイを設けます。またスタンプカードも作り、カードを記入してもらうとスタンプを押すということではげみにしていきます。

(サービス提供責任者：吉岡)

＜マナーアップ班＞

最近、検討の場がなかなか持てず、遅れぎみですが、今後は区社協へ来所される方への対応マナーについての課題整理から始めていきたいと考えています。これについて、ご意見等があればぜひお寄せください。

(副所長：佐藤)

＜研修班＞

「お互いの仕事を知ろう！」の第1回目を12月に開催することになりました。事前のアンケートで要望の多かった4つのテーマ、①ボランティア②介護保険以外の訪問介護事業③認知症関連事業④昭和区デイサービスセンターの特色、としました。各職員は自分が参加したいテーマの講座に主体的に参加し“座談会形式”で行います。

この研修を通じて、互いの仕事の中身を知り、より理解を深めあうことにより、良い職場環境を築きつつ、区民の皆様に対してより良いサービスや対応ができるよう頑張っています。

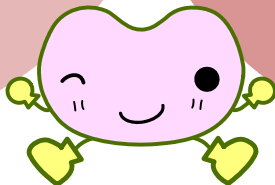
(次長：加藤)

＜情報共有・コミュニケーション班＞

社会福祉協議会の玄関を入り、左側の展示スペースに会館を訪れるお客様に対して、社協って何をしているところかを知っていただくために、社協発信の情報を掲示することにしました！事務所北側の通路には、やまぶき色と緑色の昭和区が出現！「昭和区掌握ボード」です。私たちが働く昭和区のそれぞれの地域でどんな活動が行われているか知るために掲示しまし

た。日々のお仕事の参考に！

(サービス提供責任者：山下)



進捗状況  
レポート

＜事務局プロジェクトチーム＞

12月9日(水)に「推進プロジェクトチーム代表者会」を開催します。この会議は、4つのプロジェクトチームとセーフティネット委員会の代表者が集まり、計画の進捗状況を確認し点検や実施計画の見直しを行うもので、今後の取り組みへの一層の推進力となることを期待したいと思います。

(次長：加藤)

## 経過報告(H21.10~11)

### ★計画のPRをしました★

#### ●なごやかスタッフ（本会登録ヘルパー）研修

「地域に根差したなごやかスタッフをめざして」 社協と計画のPR

11/10 (AM) (PM)・11/13・11/14 全4回 スタッフ142人全員受講

### ★話し合いました★

#### ●プロジェクトチーム

福祉教育推進プロジェクトチーム 10/23・11/10・11/24

たまり場プロジェクトチーム 10/5・11/20

情報冊子作成プロジェクトチーム 10/27・11/25

相談窓口プロジェクトチーム 10/15・11/12

セーフティネット委員会・作業部会 10/19・11/16

#### ●事務局プロジェクトチーム

社協PR・環境整備班 10/19・11/20

情報共有・コミュニケーション班 11/20

研修班 10/8・11/15・11/12・11/20・11/27

ネットワーク班 10/13・10/22・11/6・11/25



## ～「誰もが誰かの力になれる」イイ話①～



### ～赤い羽根チャリティ展覧会～

今年で3年目を迎える「赤い羽根チャリティ展覧会」は、プロの作家が中心となって昭和区社協の2階で絵やポストカードの展示販売をし、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付してくださっています。

出展している方の中には心身に障がいのある方で、普段は制度や福祉サービスを使っている方たちもみえますが、その絵は多くの人に元気や癒しを与え、遠方からもファンが駆けつけます。またそうして見に来てくださる方々に作家自身もたくさんの元気をもらっています。

ここには障がいのあるなしに関わらず、絵が好きという共通点をもった人達が集まってきます。そして、好きなことを活かして誰かの力になってくださっているのです。

「私たちは多くの人と支え合いながら生きています。その支え合う手を家族や友人にだけでなく、広く社会へと伸ばすことで私たちの生活はより豊かなものになるのではないのでしょうか」とは、中心メンバーの作家の言葉です。

「誰もが誰かの力になれる」。そんな好循環が生まれています♪

(チャリティ展覧会は12/26まで)